日伯新聞
Caixa No. 375
Phone. 2-3926
ブラジル國サンパウロ市リベルダーデ街一四六番地
發行所　日伯新聞社
本紙定價　年金三十ミルレース
外國郵便料　年金六十ミルレース
廣告料　十四字詰一行八百レース
一段及八吋二百レース增

共和黨と提携して
擧國一致施政監視
聖州民主黨支持と決定
解放黨臨時大會終る

黨幹部の改選並に黨規改正の二大目的を以てポルトアレグレ市に開催せられた南リオグランデ解放黨の臨時大會は十四日より十五日にかけて準備會を終えそれより十九日迄四日間黨員約二千名出席の下に盛大に行はれた本會議に於て右二問題決定の上猶南リオグランデ州としての政治經濟問題、聯邦政府のそれ並に最近世人の視聽を集めてをるところのサンパウロ民主黨對州革命政府間の確執問題等に亘り討議されたが右の内サンパウロ民主黨の態度に對しては聯盟の一員として主義を同じくする以上當然之に贊意を表明し援助すべきものとの動議出で採決の結果一〇八票對三一票の絶對多數で原案通過此旨民主黨へ打電した。南リオグランデ州の政治經濟問題に就いては擧國一致同州共和黨と提携し之が實行には両黨より代表者を各二名宛送り都合四名より成る委員會を組織州目付役フロレス・ダ・クンニヤ氏を委員長に推薦して各種問題の研究調査をなさしめる議案を可決し之を共和黨首ボルヂエス・デ・メディロス長老に送り其承諾を求めたところボルヂエス氏は之に快諾を與へた上二政黨が斯くも直接相提携するといふことは未曾有の快事である。これは取りも直さず擧國一致の象徴で之により共和國の各種政治問題は難なく解決さるべく過般のペロタスの會議に於て両黨が來るべき立法會議に對する意見の一致を見たといふことが既にそれを物語つてゐる。

との意味の返事をした。尚解放黨幹部はラウル・ピーラ、パチスタ・ルザルド氏外十三名で外引所、サンパウロ商業會、サンパウロ小資商組合、ブラジルミーリヨ製粉會社、マタラゾ商會卸商組合、サントス小賣商組合、サンパウロ・ゴヤス鐵道會社、サンパウロ鐵道會社、パウリスタ鐵道會社、サントス船渠會社、遠洋航路組合等の代表者で、此等代表者は既に農務長官の呈示せる本年度穀物の州内消費量並に過剰品の國内並に海外市場に於ける消化可能量推定、各鐵道の輸送方法、サントスに於ける輸出穀物の積出緩和策、同上港に於ける海外輸出の可能性に關する報告を提出し、農務長官も農業奬勵監督局の調査になる本年度穀物其他の農産物收穫豫想を發表した。之によれば本年度米の收穫豫想は一千二百万俵消費高五百乃至六百万俵、フエジヨン七百万俵、州内消費高二百万俵前後、ミーリヨ二千五百乃至三千万俵、消費高千五百乃至千八百万俵で其外馬鈴薯棉花も未曾有の豊作と謂はれてゐるが棉花が約千七百万キロといふ外馬鈴薯の其豫想高は未だ確と計算されてゐない。勿論棉花並に砂糖の生産高は未だ州内消費を充たすに至らず、砂糖の如き三百七十萬俵の消費に對し漸く百五十五万俵を生産するに過ぎず棉花と共に之を北伯より補給してゐる狀態である。本協議會に於て決定された報告書は之を農務省内經濟審議會に廻付されたが之は來る廿九日に行はれる該會議の討議に付し其結果による意見書によつて農務省としての對策を決定する筈である。

豊年で一なやみ
州農務省で考へる
過剰穀物處分對策
關係者の協議會開催

州農務長官ナヴアロ・デ・アンドラーデ氏は本年の州内農産物中殊に穀物が大なる生産過剰を豫想せられるに鑑み之が對策を協議する爲去廿一日火曜日重なる關係者を省内に招いて協議會を開催した。出席者は聖市並にサントス各商業組合、聖市商品取

待ちぼうけ氣味の
國會召集
輿論は即時實現を希望

ヴアルガス大統領が二月末日ミナス訪問に際して革命臨時政府が憲法を制定し國會を召集するのは近きにあるべしと聲明せることは一般に頗る好感を以て迎えられたが爾來二ケ月を過ぎ緊急にして且つ重要なる施設は一通り完了したと見られる今日に至るまで未だ選擧人名簿の調査も乃至は有權者資格の決定にも着手してゐないので言論機關は一齊に之に關する政府の何等かの釋明を期待してゐる。過般ボルトアレグレに開催された南リオグランデ解放黨の大會にも本問題が論議され聖州民主黨も素より之を切望すること切なるものあり此情勢より推すときは輿論に押されてあるひは意外に早く政府の具體的着手を見るに至るかも知れずと。

非難の聲を聞く
市所役の
スポーツ税

州文部衛生省では去一月以來省内に體育課を設け體育普及の爲に盡力してゐるが他方市役所では各運動團體の競技に對しては入場料を徴するものに限り利益税があると否とに拘らずスポーツ税を賦課し州政府の意向と反對の態度を採つてゐるのに對し大分非難の火の手が揚つてゐる。

利き目顯著な
外國人移民制
限令

革命政府の公布した百般の諸法令中異彩を放つてゐると見られてゐる外國移民入國制限令は元豫期せる所で、解放黨がサンパウロ民主黨並にアントニオ・ブラード翁の創立した國民民主黨と相結んで自由聯盟を組織し自由運動を起した從來の歴史を見れば容易に肯けるとて當然の歸結であると云つてゐる。

ヴアルガス
大統頭歸府

去月十九日以來ペトロポリスに避暑同市で政務を見てゐた大統領ゼツリオ・ヴアルガス氏は昨廿一日引上げてグワナバラ宮に歸つた。

ブラジル
經濟略史
三里庵

【八廿】

斯の如く攝政時代の政廟は政治的に絶え間なき脅威を受けた上對外爲替相場の低落で欠損は年と共に殖え、外債償還金の支拂遅滯、内外公債市價の慘落、更に硬貨の欲乏と來て全く多難多事であつた。中でも硬貨は、金銀貨は素より西班牙貨幣を改刻した銅貨（八百レースを九百八レースに改刻して通用）迄海外に流出し遂に之が買戻のため財務官ジョゼ・イナシオ・ポルヂオを以て五ケ年間の外債利子並に償還金支拂停止を斷行せんとせしめた程であつた。此借金踏倒案は國會に於て猛烈なる反對に遭ひ銅貨の買戻は國庫證券に遭ひ銅貨の買戻は國庫證券を以て行ふことゝなり信を債權國に失はなかつたのは後より考えれば却つて幸であつた。然るに此買戻は又投機者派の附け入るところとなり銅貨（西貨）の

イヂドロ將軍
州目付役か

ブリニオ・カサード氏の後釜として第一軍管區長イヂドロ・ヂアス・ロペス將軍が擬せられ將軍は之が爲リオに出頭親しくヴアルガス大統領の希望を聽取するところがあつたが歸聖後一先づ謝絶することゝなり去廿日部下をペトロポリスに派して其旨上申せるところヴアルガス大統領はオズワルド司法卿と協議の上再考を促すことになつた模樣である。昨二十二日朝までは其後の消息は尚不明であつたが結局イヂドロ將軍は大統領の希望通りリオ州政府を預ることになるであらうと見られてゐる。

氣の勞働卿
聖市訪問

サンパウロ知名の實業家並に各勞働團體の招待により勞働卿リンドルフオ・コロール氏は來月初旬聖市を訪問することに略々決定を見た。今次の訪問は公式で來聖の上は主として各大工場を視察する筈であると。

診療時間　午後（三時より六時まで）
ドクトル　高岡專太郎
ルア　ファゼンデス八
電話　セー四六八三番

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIOS
Rua Cidade de Toledo, 25
Caixa, 911-Tel. 2837-End. Tel. "Tozan" SANTOS

サントス市
電話　セントラル二八三七號
珈琲　コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ・イ・コンパニヤ
郵函　九一一號
電信略號　TOZAN

弊店取引方法ハ御照會次第御回報申上候

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTDA.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria No. 28
CAIXA POSTAL, 380 — RIO DE JANEIRO
切り取りて手紙の裏にはられたし
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店
預金
伯貨定期預金利息（六ヶ月以上四分二厘一ヶ年以上五分四厘）
伯貨當座預金（小口）年四分
預送金用紙は御請求次第直に御送り可致
御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候
開御申込の際最寄郵便局御指定相成り候はゞ御便宜に有之候
鄉里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取たる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて鄉里の受取人へ御送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として
Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São Paulo
へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく候
日本貨定期預金利息　六ヶ月以上四分二厘　一ヶ年以上五分四厘
日本貨當座預金（小口）

印刷物は
日伯社へ……
鮮明、迅速、廉價
紙袋（アルマゼン用、カフエー用）
封筒、用箋、ゴム印、帳簿、製本
一切の御用命を承ります
營業部
聖市リベルダーデ街一四六
電二—三九二六　郵三七五

大阪商船株式會社
日本へ一番早く着く
優秀な新造客船
【命令定期毎月一回】
◉北米經由サントス日本間六十日に短縮
◉日本へ
ハワイ丸
五月二十日サントス發
五月二十二日リオ發
◉日本より
ブエノスアイレス丸
五月九日サントス着
代理店
SANTOS-HOULDER BROTHERS & CO. LTD.
Rua do Commercio, 35 - Caixa Postal, 328
S. PAULO - THEODOR WILLE & CO. LTD.
Rua Libero Badaró, 52 - Telph. 4-3925
○御歸朝客には神戸から鄉里の内地各駅迄弊社無賃乘船の特典を設けました、但し沖縄行は各等五割引
○日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます
サントス駐在員　酒寄守
Caixa Postal, 338 SANTOS

日伯新聞

淨化運動の第一歩

吾人はさきに在留邦人社會を現に見るが如き混亂狀態に導いた動因がデモ有志の跋扈に在ることを指摘し此一兩年來の首魁を中島總領事りと斷定せるが果して彼が歸朝の途に就いて旬日を閲でさるにそれを立證する一事蹟が擧げた。サンパウロ日本人會の淨化運動とれである。サンパウロ日本人會の前身は月知の如く聖市在住邦人中同仁會の成立事情に不滿をいだき之攻擊を目標とせる一部同志の組織せる同志會であるが其後サンパウロ市內に眞に在留民を代表する團體の必要緊切なるものありとなし恰も在任中の赤松總領事の肝煎りで現在の日本人會に改造された。其旨意素よりよく改造當時會員も相當多數に上つたが如何せん肝煎りした赤松總領事の肚の底を割つて見れば一二不平家の口を塞がうとする魔除けであつたといふのが嘘僞りのないところで從つて會員として名前を列ねたものに義理合ひに加入せるもの多く日本人會を事實上左右して來たのはホンの一二の者である。中でも黑石清作の如きは其尤なるもので、彼は此日本人會が聖市在留邦人の代表團體であるといふ名前を利用し之を唯一の根城とし凡ゆる苦肉の策を弄して世間に自己の体裁を飾らんとした。斯かる所へ中島總領事が來任した。

其心細い知識を自ら實質以上に買つて何にまれ一言申さねば氣の濟まぬ中島の來任は陰險其のものゝやうな黑石にとつては實に勿怪の幸であつた。彼は出裟婆も屋の中島に程よく諂ひ自分は日本人會の蔭にかくれ凡ゆる策動に浮身をやつしボンジニヨの鮫島以下一二の幹部を囚にして踊らせた。此時分の日本人會は最早や名實相伴はず會員は何時とはなしに姿を消して全く黑石の日本人會であるかの觀を呈した。他方中島にとつても黑石はなくてならない役者であつた。彼は黑石を通して日本人會の名を用ゐ自己の我儘を遂げやうと試みた。そして他人の希望が合致して共同動作を採つたものに日伯社撰減運動がある。此邊の消息は既に世間周知のところで詳述に及ばないが、鮫島が去月二十四日日本人會長の名に於て三浦本社長追放處分に對する謝電を司法大臣に發せるなどは中島と黑石の細工なることは疑を容れない。

併しながら天網恢々疎にして漏らさずといふことがある。斯樣な謀策が何時迄も見逃されやうがない。即ち其數日前改選された役員全部は鮫島の獨斷專行を詰つたが、鮫島は中島等に因果を含められ全責任を負うて辭任した。これより先黑石は役員をおとされ、中島は歸朝し、今又其唯一の囚たる鮫島は詰腹を切らされ、茲に黑石の社會的生命——たとひそれが泡沫に等しい頼りないものであつたにせよ——は全くち奪し去られたのである。黑石が中島の在任を五年も十年もと冀つたのは斯かる事情の伏在せるによる。

黑石の沒落、それは彼自身にとつては氣の毒に堪えないが、それが爲聖市在留日本人社會の淨化運動の第一歩を踏み出し得た點に於て觀念してよい。吾人は此革新の氣運がただにサンパウロ市の一角に止まらず、廣く在留同胞社會の全般に行渡るべきを希望し、又其時の近く到來すべきを信じて疑はぬ。

秘密に終始する珈琲生產州會議

主題は二十%輸出稅

會期相當長引く

既報の通り珈琲昇刻下の情勢に鑑み之が對策を協議すべくサンパウロ州政府主催の下に去二十日よりリオ市パレスホテル內に於て國內珈琲生產州を網羅する珈琲會議が開催されてゐる。

參加生產州はミナス州（珈琲保護局長ジヤツケス・マンエル氏、耕主總代マウロ・ロケツテ氏代表）、リオ州（代表大藏長官ヴイセンテ・モラエス氏）、エスピリトサント州（代表マノエル・ロペス氏）、パラナ州（代表オリベーラ・フランコ氏）、それにサンパウロ州よりはアルベルト大佐の外マルコス大藏長官、珈琲局幹部テオドロ・バルボーザ、アルヴエス・デ・リマ、及びタデウ・ノゲーラの諸氏出席。

何にせよ國策上重要な會議とあつて各州代表者の外一切の傍聽を許さず最後の決定を見るまで會議の模樣は頗る秘に付せられてゐるので報道すべき何等の材料を得られないが出席者の會話の斷片より、又消息通の推測せる所を綜合するに

本會議の主要題目は例のミナス州耕主によつて猛烈な反對運動の起きた二十%輸出稅で反對の眞の理由は年四百万前後の收穫あるに過ぎぬ全州が之に數倍する聖州の犧牲に供せられ尙其徵收せる稅金をすべて聯邦政府の收入となすは面白からずといふに在るものゝ如く既に全州耕主が六十万俵を秘密裡に賣却せりとの噂を生ずる程にて其態度は頗る根強きものあり、仍て本會議ではこの二十%稅を廢し新たに輸出珈琲に對する金貨稅を課さうとするに在る模樣で之が決定を見るまでには代表者間に相當の波らんがおきはせぬかと取沙汰されてゐる。

コロンビアは伯國品の上華客

運輸機關の改良が要る

來月十五日サンパウロに於て開催せらるべき國際珈琲會議には十五ケ國の代表者が參加する筈であるが內近年其品質の優良なる點又其生產增加の點に於てめき〳〵頭角を現はしブラジルの强敵と目されるコロンビアからは同國珈琲園主聯盟會長の外在サンパウロ領事ベルシ・レヴイ氏が出席することに決定してゐるが珈琲會議並に昆伯兩國貿易狀態に就いてレヴイ領事の所見を叩けば

珈琲栽培は今やコロンビアにとつては重要產業の一であるから來月の珈琲會議も勿論之を重要視し代表出席者は開會前豫め聖州珈琲地帶を一巡して栽培の實況を視、且つ取引上の實際も調査する筈であるとて會議に臨む同國の用意のあるところを述べ次いでブラジルとの貿易關係に言及し

コロンビアは從來ともブラジルの農產物及び工業品の最もよい華客たる素質を有してをりながら運輸機關の不備なる關係上貿易狀態の思はしい成績を見られなかつたのは遺憾である。例へば米の如きブラジル米を輸入するドイツ、北米から再輸出を受けて國內上需要を充してゐる有樣である最近伯貨の對外價値は著しく落したが、コロンビア貨は舊儘の價値を維持してゐる故に單に爲替の點からのみ云ふも此際大いに兩國貿易の進展を圖り得る餘地があるやうに思ふ。

とブラジル當業者の研究の不足を暗に指摘した。因に調査の結果によればブラジル船の沿海航路による運賃は法外に高く距離の點から見ては當然廉價につくべき筈のものも之に幾倍するする今日運賃問題は選ばれて當業者間に一大問題視される時期が到來するものと期待されてる安價につくて云ふ現象が澤山實在

脫稿せる恩給局法原案

かねて起草中であつた勞働者の恩給局法原案は此程やうやく脫稿一兩日中に之が發表を見る筈であるが既報の通り該案の完全を期する爲原案は公表後三十日間の猶豫を與へて一般の研究に任せ勞働者では其意見を參照して不備の點を補ひ始めて公布の運びに至るのである。

聖州銀行總裁アルチノ氏か

カルドーゾ・デ・メロ氏の辭任以來空席となつてゐる聖州銀行の總裁に前總裁アルチーノ・アランテス氏の呼聲高く確かな筋よりの報道によれば氏は大藏長官マルコス氏の勸誘に承諾を與へた由である。斯くして革命政府の治下に舊共和黨幹部の人々が段々割り込み重要な椅子に就くことになる模樣。

智利政府の輸入稅引上げ

智利政府は此度國庫の增收を計るため珈琲、マテ茶を含む多數の輸入品に對する關稅率を引上げた旨在リマ伯國大使館を通じて當國に通告があつた。時節柄將來の影響を慮り外務大臣メロフランコ氏は駐伯智利大使を介し智利政府と折衝開始の模樣。

Dr. Palamone
OCULISTA
眼科專門
ドクトル パラモネ
アララクアラ驛 サンベント街三三

建築用 古材料商
戸ビラ、窓枠、ガラス、梁材
瓦、水道、瓦斯管、其他
Travessa do Quartel, 9-B São Paulo

ピンガ製造所 安谷屋龜
カムポグランデ驛 マツトシグレド耕地

ジヨルジエ 赤嶺德助 共營
カーザ・ガラニヤ
カムポグランデ市 J・ペツソーア街

マツトグランデ市 ドツトル・ジヨン・ペツソア街
イデアル藥局
內外藥品高等化粧品一切
宮城重吉郎 源河幸吉 共營

Dentista
BIRIGUY
Villa Conceição
醫科醫 伊藤達馬
ビリグイ ビラ・コンセイソン

Colonia "Limocoa"
自己土地の所有者なれば不景氣も平氣なり、五アルケールス値に一コント、停車場より四キロ、森林あり地權確實、生涯の保證の爲是非地主となられよ、委しくは左記へ御照會ありたし、毎日午後二時より六時まで
Rua Libero Badaró, 40, 3 and. sala. 16. S. Paulo

靴の修繕並びに新型の御注文は上手で安くて早い
ナ、ムラ靴修繕所へ
コンセレイロ・フルタード街六十六番

FABRICA DE MACARAÕ TOYO
日本式うどん そうめん 卸小賣
東洋製麵所
我那覇宗輔
リンス市リオ・ブランコ街五四
郵函 二〇三

Pharmacia Popular
DE HOEPPNER & SILVEIRA
Av. Minas Geraes-Promissão - Caixa, 101
獨逸製 醫療器具類
農業用藥品
藥品一般
アルセニコ エンソフレ シヤメレト 他
ブロミソン ファルマシア
ポプラール
ミナス ゼラエス大通り

Cafe Assembléa
JULIO MALFATTI
珈琲の王道を行く
アッセム ブレーア
用命は左記本支店へ
ブラサ・ジョン・メンデス六
電 二—五六二九
シヤヴイエル・デ・トレード街二
電 四—八六九二
バルメイラス街
二—九A
電 五—四二七〇

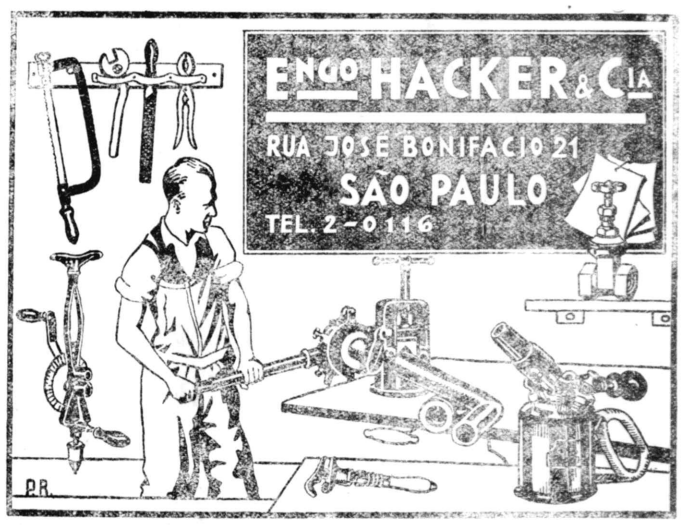
CASA LEMCKE
S. PAULO Rua Libero Badaró, 36
SANTOS Rua do Commercio. 13
新柄豐富
羊毛、毛織物類、天鵞絨、無地類珍柄取揃あり、見本御申越次第送附

Sociedade de Productos Chimicos
"L. QUEIROZ"
Rua S. Bento, 63 Caixa Postal, 255 S. Paulo
Pinheiros 販賣所 Rua do Commercio, 160
肥料
過燐酸鹽
含有量
十八ボルセント
一トン 二九五$〇〇〇
各種共當店にて常に研究して居りますから是非當店に御相談下さい

米作地帶 四千アルケールス
一アルケール 三百ミル 二年拂
ジユキヤ線アレクリン驛より
三キロ（輕便鐵道本年內開通）
詳細は左記へ
マルチンス植民社
緒方留吉

COLONIZAÇÃO MARTINS
Rua General Couto de Magalhães, 18 sob
Caixa, 1820 S. Paulo

▽日本人諸君には特に勉强御便宜を計ります
ENGO HACKER & CIA
RUA JOSE BONIFACIO 21
SÃO PAULO
TEL. 2-0116



精米所開業
今回愈々精米機据附濟に相成候就ては叮嚀迅速を旨とし精米の御用命に可應候間多少に不拘御用命被仰付度御願致候先は御披露迄如斯に御座候
追而白米各種製品有之候間御一報次第直ちに見本御送附可申上候
ノロエステ線アラサツーバ變更線
ガラヽピス驛フルタール町
瀨ノ上精米所
郵函 百五十番

告示

今般伯國聯邦臨時政府は一八八九年（明治二十二年）一月一日以降伯國領土內に於て出生したる者にして未だ伯國側に出生屆を爲さざるもの又は既に屆出たりと雖も其の登錄場所の不明なるものは從來の規定の如何に拘らず來る一九三二年（昭和七年）十二月三十一日迄に必ず漏れなく屆出を爲すを要する旨の法令を公布したるが右期限內は何等の罰金を課せらるゝことなく之を受付くるも期限經過後出生未登錄の者伯國官憲の發覺する處となるならば伯貨廿ミル以上百ミル以下の罰金或は又伯國法律に依り生來の伯國人に對してのみ許與せられたる各種の權利を獲得せんが爲虛僞の申立に依り本令を惡用したる外國人は國外逐放に處せらるべき等の罰則も有之處未登錄の向多々有之べしと思考せらるるに付此際至急最寄民事登記所へ屆出置かるゝ樣致度し

追而右手續施行上不明の點あらば管轄領事館へ御照會有度し

右告示ス

昭和六年四月

在サンパウロ 日本總領事館
在リオ・デ・ジヤネイロ 日本領事館
在バウルー 日本領事館
在リベロン・プレート 日本領事館
在サントス 日本總領事館分館
日本總領事館出張所

將來を囑目される聖州の大豆栽培

―聖市商品取引所報告―

大豆栽培がサンパウロ州内農業關係者の間に知られたのは極く最近に屬するが、採油其他工業原料としての價値大なることが一般に知れ渡り且つ珈琲始め他の雜穀が市價の關係上やうやく其前途に一抹の暗影の點ぜられた今日、其生産並に加工に關する眞面目な研究者が相當出來るに至つた。先頃も當市商品取引所では左のやうな報告を發表してをる。

サンパウロ州に於ける大豆栽培は既に大分以前から試作されてゐたが、之に關する知識が農業者間に知れて來たのは極く最近である。前政府時代に於て農務長官フェルナンド・コスタ氏は大豆栽培に對し非常な關心を有ち大量の播種用大豆を輸入して之を一般農家に頒布した。其結果極く少數ではあるが相當の成績を擧げた植民地も出來、栽培に對する興味も湧いて來たので農務當局では引續き之が奬勵に努めてをる樣である。

從前サンパウロ州の氣候は大豆栽培には向かぬと信ぜられてゐたが、經驗の結果其然らざることが實證された。たゞ地質には往々不適當なところがあるがこれが撰擇には大した努力を必要としない。

大豆の利益に二つある。即ち其一は種子より食用豆油を製する外其殘滓より各種の貴重な化學製品が得られる他の一は大豆を栽培することによつて土地を肥沃にさせることである。一九二二年北米で始めて大豆栽培に手を染めた年九千五百二十八トンの種子より百四十八万二千斤の豆油を搾取したが、それより七年後一九二八年には五万二千八百五十六トンの大豆より實に七百三十二万二千斤の豆油を採つてをる。越えて一九二九年に於ける同國の大豆總生産高は千八百十四万六千俵（四十キロトル入）其價格三千三百九十七万九千弗伯貨に換算して四十万コントスに上つたのに見ても如何に大豆栽培が同國に於て重要視されてゐるかが窺はれる。

大豆栽培國は素より北米のみでなく支那など斷然群を拔いてをり北米では自國の總生産量を消化した上尙支那より年々四百万斤以上價格千五百万弗の輸入をなして加工原料としての需要を充たしてゐるのである。

▲大豆主要輸入國狀態

國名	一九二六年	一九二七年	一九二八年
日本	九六・二六	八四・七〇	一・三一・七三
獨逸	八一五・七七	一・七〇・〇六	一・八六八・八九
丁抹	三五・〇一五	三四八・六〇四	四七四・二一八
英國	一〇一・〇八二	一八二・八三一	四三〇・八六六
瑞典	一九・四七四	一五〇・七九	一九九・五一八
和蘭	四一・六四四	二一・九〇七	四〇・一八〇
北米	三・七八	四・一八	四・二五六

之に依り明かなる如く大豆の需要は既に世界的であつて、其風土の栽培に適すること並に消費市場に對する商業的位置よりしてサンパウロは其大生産國たり得る幸運に惠まれてゐる。

未曾有の聖州農産物

傳へられるところに依ればサンパウロ州今年度の農産收穫は未曾有の高に上りミーリョは千五百万俵米は一千万俵以上と見積られ綿は栽培開始以來の新記錄を作る筈で、サンパウロ州の生産のみで全伯國の食料を充たし紡績に要する原料綿を供給し得るであらうと。

農牧業者組合成立

ノロエステ並にパウリスタ延長線

本月十九日に催さるべきであつたノロエステ並にパウリスタ延長線農牧業者組合發會式並に同意見をきくが、どうも場當り的な所論で、實際各地方の事情を知つて研究の結果かどうか、危ぶまれるものが多いやうだ。數理的なそして全般的の効果を無視して、一地方、一局部に拘泥した所論のやうに思はれる。山下兄の地方化說、江見君の出張所增設說、時報社長の地方醫師囑託說等何れも悪い事ではないが、黑石君など十年間に一度か二度か地方へ旅行した位で外人醫師がどんなものか承知かしら？超スピードの現代に於て最良の能率をあげるためには、凡てのことが合理的でなければならぬと思ふ。今更分業的に同仁會を分散して果して現在より以上の効果をあげられるか否か、これには充分研究の餘地がある。黑石君は嘗て事業の合理化說者で汎日本人會創設の急先鋒をつとめてゐた。その人が同仁會に對してのみ特別に地方化（それも盲目的な）を唱へるは矛盾も甚だしい。それでなくとも現在の同仁會は、完全に地方の仕事のみをやつてるではないか。定見の無い、統一の失はれた所論は排すべし。改良を否認する僕ではないが、改悪は斷呼として之を否認する。

僕の見るところでは、同仁會の遷去に於て、費用の割合には立派な仕事をして來たと思ふ。何によらず研究し、對照、比較してみなければ仕事の實績はわからぬ。又それを知らなければ正當な批判は出來ない。豫防衛生に、診療に、臨時救療に、さては日本醫學の輝やかしいブラジル進出に、偉大な足跡を殘してきたその事實は事實として之を認めなければならぬ。この意味に於て同仁會を今日に至らしめた幹部諸氏の勞力を多とせねばなるまい。

これらの事理を辨へず徒らにケチをつけたり、悪い意味での批判を下すは、決して公共事業に忠實な所以ではない。さもなければ仕事の量を計算する頭のない自分である事を、自から天下に曝すものではなからうか。

僕は地方化主張者に問ひたい同仁會は聖市で何をしてゐるか？　同じ在伯同胞十二万人を相手にしながら、勸業部、組合、海興などの四半分にも足らぬ人數を以て、立派に事務を執つてゐるではないか。しかも聖市の在住者は殆んど同仁會の厄介にならず、全く地方在住植民者を對照として動いてゐる。即ち、取立てゝ地方化を唱へるまでもなく、實質的に地方化してゐる現狀をみるがいゝ。僕は公共團體を自己の勢力擴張とか、營業政策に有利ならしめんが爲め悪用する人達の人格を疑ふ。

在伯日本人同仁會の總會を前にして

小林弘一郎

地方を時々旅行する僕は良く地方有志から同仁會を中心とした話題を持ちかけられる。然しその中心は常に同仁會關係人物觀や同會を問題とする聖市在住者の人物に就いてであつて、事業そのものに對して不足や改革を云ふてる事は聞かぬ。とうした場合に於ける僕の返答は『同仁會は日本官憲及び在伯同胞有志に依り選擧された智識階級の人達が同胞全般のために僅少の費用を以て最大の効果を得るため研究と努力とを傾注して豫防衛生に、醫療に、充分の能率をあげる可く働いてゐてくれるのだから、我々は大して問題にしない』と云ふの常である。

總會を前にして論爭せられつつある同仁會に對し、今私見を述べるのもあながち無駄ではなからうと思ふ。曰く地方化、曰く改革案……と色々な意見をきくが、どうも場當り的な所論で、實際各地方の事情を知つて研究の結果かどうか、危ぶまれるものが多いやうだ。數理的なそして全般的の効果を無視して、一地方、一局部に拘泥した所論のやうに思はれる。山下兄の地方化說、江見君の出張所增設說、時報社長の地方醫師囑託說等何れも悪い事ではないが、黑石君など十年間に一度か二度か地方へ旅行した位で外人醫師がどんなものか承知かしら？超スピードの現代に於て最良の能率をあげるためには、凡てのことが合理的でなければならぬと思ふ。今更分業的に同仁會を

稅金と運賃に喰はれる珈琲作りもある

!? バナナールの實例

課稅！課稅！たださへ市價低落せる珈琲に三シリング稅一ミル金貨稅その上二十%輸出稅と稅金の加重に珈琲栽培者の或る一部は働き損の足疲れ儲けといふ情けない狀態に在る。最近バナナール郡農家が連署してアルベルト大佐に提出した二十%稅撤回嘆願書に附した二三の珈琲賣却明細書に依つて見るも如何に憂慮すべき狀態に在るかを知ることが出來る。

バナナール郡は聖州の北部に位する古い珈琲地帶で既に地力も衰え千本に對する生産高は二十五乃至三十アローバスで北パラナの新地帶に於けるが如く百五十乃至二百アローバスの生産力ある地方とは全然比較にならぬ貧弱さである。從つて生産費高價につき餘程の豐年でない限り引合はぬので耕地は自然に拋棄されて行くが最近の如き相場になつては各種珈琲稅のみで賣上高の五十%に當る狀態である。

今一例を見るに、エドアルド・アラウジョ商會は一月七日百五十俵を賣つたが其結果は

賣上總高　一〇・四三三・七〇〇
バナナル收稅署への納稅
手數料、運賃其他　五・八元・四〇〇
差引殘　四・五三・三〇〇

即ち生産費を除外した他の諸掛が總賣上高の五十%を超えてゐる。他の一例として同商會が三月十日に賣却した五十俵の勘定を見るに

總賣上高　三・九七・四〇〇
稅金運賃其他諸掛　一・〇元・三〇〇
差引殘　一・四七・八〇〇

尙第三の例は二月二十四日アヴエラール商會の賣却した百俵の總賣上高　七・四三・四〇〇
稅金（バナナル及びリオ）　三・八九・三〇〇
運賃其他　三・五・三〇〇
差引殘　四・〇・一〇〇

右の三例を見れば其何れも諸稅金運賃等の諸掛が總賣上高の五十%を超えてゐる之に生産費を正常に見積るときは却つて働き損である。

國際展望

◇……ソヴエト政府はロシア交通運輸事業の能率を上げる目的ですべての鐵道に對し嚴重な禁酒令を發表し、停車場の飲食店は勿論食堂車内にも葡萄酒、ビールをはじめ凡てのアルコール飲料を置く事を禁じた。これは鐵道從業員に對する禁令であるが、乘客も自發汽車の中で一寸一杯といふわけにゆかなくなつた。

◇……難癖町として世界に有名なレノ市を有する米國ネヴアダ州に於て離婚提起の資格たる居住期日從來の三ケ月を六週間に短縮する案が州議會を通過したが、更にもつとふつゝ賭博公認の法律案が下院に提出され二十四對十一票で通過した。上院も無論通過の模樣であるが、同案提出の理由はネヴアダ州では元來賭博を殆んど公認するが如くに見てゐたもので、その結果官吏が盛んに收賄するため、賭博公認によつて官界を廓清し、多額の稅を徴收出來るといふのである。

夫婦入用
聖市郊外シチオ管理の日本人夫婦を求む御照會は左記へ
Rua da Estação, 114
Santo Amarro

モヂ、土地
自動車道に接し、驛より三キロの土地、野菜雜作向の地讓渡したし。御照會は左記へ
R. Arthur Motta, 240 S Paulo.

御はん炊き
兼子供（三才以上）の守をする十五才位の身体丈夫で眞面目な人一名至急入用です（旅費はこちらから送つて上げても可し）ルア・サンタ・エフイジエニア六十六　吉野清

御菓子
聖市コンセレーロ
防迫墓子店
フルタード街五番

時計エレクション販賣並に修繕
聖市コンセレイロ・フルタード六
佐古田亀藏

靜かな部屋でゆつくりお食事を――
料亭　つるの家
電話二一六七六七番

コンデ六一
とうふ
もりした

通關手續取扱事務所
主任　小淵友市
Rua Commendador Martins, 142
CAIXA, 657 SANTOS

若返る
性命湯（動植物の精）
血の道、神經痛、胃腸病、性病をテキメンに治す送料共六銭
パウリスタ線マリ、アリ驛
日本藥局　海老根喜重
郵函二二七

安い店
日の出は
內外雜貨物農産物仲買商
貨物自動車常備
ソロ線ランシャリヤ驛郵函三
阿久根國雄

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Av. Condessa São Joaquim. 26.
TELEPH. 7-3384 - S. PAULO

聖市
醫科
金城山戸
アベニーダ・コンデツサ・サン・ジヨアキン二六

CLINICA DENTARIA
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel, 2-3029
歯科醫院
村上眞一郎
聖市コンデ・デ・サ・ザルゼーダ九
電話二…三〇二九番

新生くらし
就職難に陥れた相談所
◀取扱目種▶
◇男女奉公先、日雇勞働先
◇土地購入借地等案內
◇肥料苗木の取次ぎ
◇サンタカーザ入院手續並各專門醫の通譯
◇諸顯書の手續
◇兩替
◇凡て迅速、親切、丁寧に取扱致します
女中居入用
聖市コンデ街三一
電話一一四七六
主任　小川勝太郎
中谷武夫
成功望まるゝ方來れ！

Missão Japoneza no Brasil
聖州義塾
寄宿舍、夜學校
葡語通信教授
主任　小林美登利
サンパウロ市ガルボンブエノ八十五
電話七一五二九四
サンパウロ教會
日曜學校（午前八時半）
大人集會（午後八時）
CAIXA, 2-A S. PAULO

法律と飜譯
奉務
カルロス・デ・モラエス・アンデラーデ
ジヨアキン・シルバ・ゾートラ
聖市ヂレイタ街七番三階三號室
宣誓公證飜譯人
杉山英雄
CAIXA, 2975

奉祝御宴會の御料理は母國の香りかゆしき
このあれ食品料を御用意

四月二十三日、天長節を俱に御祝ひ奉りませう。天地の涯て遠く南米に渡り今日吾等が有意義に活動爲し得るは實に長くも我が聖天子の御威德の然らしむる所、我等赤子は等しく御聖德に對し奉りとこの天長の賀節を永遠に壽き奉りませう。

日本酒、中羽煎子、チリメン煎子、鰹節、丸干鰯、干飛魚、剝すまめ、削節、鍊、干牡蠣、ウルメ煮干、貝柱干ゑび、鯨の本皮、鮭味噌漬、鮭粕漬、鹽鰯、淺草のり、三島のり、椎茸、干連根、厚板昆布、白板昆布、青板昆布、味出昆布、青刻昆布、おぼろ昆布、とろゝ昆布、青のり、ひじき、若布、干瓢、高野豆腐、春雨、寒天、八千代麩、松露麩、大形麩、味眞麩、文化麩、干そば、こんにやく粉、凍こんにやく、片栗粉、白玉粉、カレー粉、味之素、花あられ、赤梅、紅生姜、砂糖生姜、食紅、御茶淸風、龜甲亀醬油、日之出醬油、モスタルダ、餅米、小豆、大豆、蒲鉾、竹輪、飯蛸、蛸燒煮、鰹味附、鰻蒲燒、穴子ノ蒲燒、鳥賊、蟹ボイル、海老ボイル、鮭味付、鯖味付、鰯味付、鮑、マテ貝、松蒲漬、赤貝、揚卷貝、小貝、淺里貝、サヾエ、鮑、マテ貝、穴子ノ昆布卷、小鮎、鯛佃麩、福來煮、福神漬、牛蒡金平、奈良漬、ホマレ漬、紫草實漬、松茸、筍、ふき、白瀧、唐子漬、生海苔佃煮、蓮根粕漬、野菜味淋漬、魚河岸佃麩、鯛天婦羅、鯛味噌、鰯味淋鰯、鰯味淋干、高山小貝野菜煮、御殿煮、不貝野菜煮、琵琶湖卷

日本品直輸入商
日の出醬油釀造元　聖市　中矢商店
郵函二九九五號

天長節奉祝

『日伯』は在留同胞大衆と共に進む

各位の深甚なる御後援を謝す

一段五分ノ一	一二ミル	
二段五分ノ一	二二ミル	
二段五分ノ二	四〇ミル	
二段五分ノ三	六〇ミル	
三段五分ノ二	六〇ミル	
一段通し	五〇ミル	
二段通し	九五ミル	

御申込は可成り早目に（地方別に纏めますから）遲くとも二十五日迄にお願ひします

廣告

日伯紙發展

◇毋國近信◇

内輪喧嘩から化の皮を曝露

インチキ易者のからくり

法△△△

文藝

笑かす漫談

鈍氣呆亭

これは極く出鱈目な、サンマンチックな、責任のない、恥と外聞を忘れたやうなお話でございます。私が人間になつて、さゝやかながら獨身ながら、番地札のついた家を持つてからの下らない話でも一年一日の如き習慣がつきました。私は大變寢起きの良い男で、先づ朝眼がパッとさめた時（一時間近くもさんざ起きされて）第一に窓を開けてその日の天氣の都合を確かめ、其の次に同じ部屋に同居してゐる小鳥の聲柄を聞きわけて、其次に枕元に取寄せてあります新聞を夢中で取り上げます。半ば開いたあのトンチキな眼を所謂三面記事の一番大きな活字にブッツケて先づおもむろにピントを合はせて落着きます。

それから飛ばつくやうにまちかねてあるところは小說の續きでも映畫のゴシップでもなんでもなく、あのせゝこましい記事の隅ッこに小さく片附けられてゐるよろづ案內から讀み初めます。なんといふ世にも稀なる讀方、見方でせう。これは私が日本に於て、矢張り新聞の相談欄を愛讀してゐたその習慣にもよることでせう。事實この相談欄から私は人殺しの勇ましい記事よりもつと勇ましい記事を發見した事もありました。續きもの〻小說、大新派大悲劇の腸を斷つツラネよりもこれを頼りにしてゐる人の心持をお察しゝて、こつちの方が餘ッ程泣けたこともありました。

がブラジルの邦字新聞に、未だ未ださうした理解ある欄は設けられてゐません。否、設けやうとしても惱みの無い讀者ばかりでその必要を痛感しないのかもしれません。これは嬉しいやうな事であると同時に、私には、ブラジルへ來たがために失はれた一つの大なる損失であると云へます。でこの樂しみは、勞ひ日本から送られてくる新聞を待ちあぐんで、リオまで迎へに行きたくもなるのですが、この方の創作は後に廻して、それさつき冒頭に述べたよろづ案內のうちから、最近社會を震駭せしめた、或る結婚廣告のすばらしく文學的なやつを一つ紹介して、善男善女の寄捨を仰がうといふ次第なのであります。

勿論これは、求婚廣告を見た事によつて花恥かしい姥櫻の御婦人達が寄せられた、情緒チンメンたるふみがらではあるのです。これを發表することによつて、私は、侮辱するものであるとのお叱りを御婦人連から受けやうとは毛頭豫算に入れてありません。何故かつて、これは絶對の事實なんでありますから……。良きフェミニストの私として、これだけの拔け道をこしらえてから本文に移ります。

B・F様、御許へ。只今貴方樣の新聞廣告を拜見致しました。つら〳〵惟みるに、私とそ略々御希望の條件に適合する者ではないかと、卒爾ながらこの手紙を差上げる次第でございます。私は當年二十九歳、相當なブラジル人の家庭に育つたソルテーラであります。財產と致しましては約三百コントスの土地を所有致してをります。私はモレーナでございます。黑目でありまして髮は波形、身體は絶對强壯で人樣も先づ十人並であると申して下さいます。

若しこの手紙が御意に召してお會ひ下さる御親切がおありならば、それ以前に一應貴方樣の國籍、職業、年齡と、お許し下さるならば寫眞を一葉同封で御通知下さいますやうひたすらお待ち致してをります。尙私は、つれづれの儘に只今ある役所へ通勤致し、八百ミルの月給を頂いてをります。これは終身官でありますし又ほんの數時間家をあけるのにしか過ぎませんから、結婚後も現在同樣お許し下さる事をあらかじめお願ひ申してをきます。かしく。

市內廣告主樣、御前に。御廣告の文意に從ひ、私の身柄を御通知申上候。私事離婚後五年を經過せるイタリヤ系のブラジル人にて、當年二十八歳は相成り目下両親と共に消光致し居候。生來內氣にて正直、勞働を苦とせず、幾分の教養有之、身體强健にて身柄は自由、商用の事務所を有し、自身勞働の結果二ケ所に土地を購入し、其一に私の爲め月賦にて住宅を新築致候。

若し本條件を御認容下され候はば、甚だ申兼候へども御寫眞一枚御惠送賜はり度、尙お目もじは女母立會の上にて御願申上候。御返辭は留置郵便にてC・M・Lと願上候。敬具

B・F樣侍史。エスタード紙上の廣告を拜見し、御求婚に應じたいのでございます。私はソルテーラで十五コントスの貯金帳を所持致してをります。年齡二十五歳、身長一メートル五六、體重は五十六キログラムありまして至つて健康、色は白く、瞳は綠、髮は黑く、相當の教養があります。尙私は孤兒でありまして、目下は叔父母と共に田舍で暮してをります。

然し兎角冷酷な待遇を受けますので、このまゝ長く同居する氣にはなれません。何卒事情御推量下さいまし。御返事はエスタード紙氣付RUTH宛にお願ひ致します。

これは何十通ものゝうちのホンの一部であります。B・F樣であり、又の名をG・A樣と呼ぶその廣告主が、これら凡ての御婦人連と結婚らしい事をやつて何十、何百コントスの小遣を獲たかは、直接刑務所に居るその人に尋ねられるがいゝと思ひますが、結局はタヌキとムジナのだまし合ひ、因果は廻る小車の世の中ではあります。

次にこれは、同仁會の衞生相談では決してない、多少私の創作ですが稍本當に近い衞生顧問の見本を御紹介します。

問『私は十七歳の男子ですが、顏に色々ブッ〳〵赤い小さなものが芽をふくやうに出來てあります。之は何でございませうか』

答『一度拜見しなければわかりませんが、赤いブツブツは多分ニキビでせう。御安心なさい。それは靑春の誇りです』

問『私は年はまだ三十前ですが頭がよく禿げて困つてゐます。近所の手前もありますので、完全に生えそろふ樣な藥があつたらば秘密にお敎へ下さい』

答『それには御同情申上げます。今の所では毛生藥が一番良いと思ひますが、一度醫師の診察を受けて御覽なさい』

問『私は小さい時から心配事があると大變氣になつてなりませんが如何なものでせうか、お敎へ下さい』

答『その心配は神經を使ふから氣になるのです。成るべく無神經にして心配事をしなければ平氣でゐられます』

問『私は小學校に通ふころからトラホームでしたが、未だにトラホームなのです。いつたい何日ごろまでこれが續くのでせうか。親切にお敎へ下さい』

答『さあ餘程長い事と思ひます。一應診察しなければわかりませんが、おなほしになる迄全快は難かしいでせう』

＊＊試寫室より＊＊

Sem Novidade no Front.

(UNIVERSAL)

戰爭は屠殺である、そしてそれ以外の何ものでもない、といふ事を正しい認識の下に、眞實のまゝに描いた映畫である、これは、戰爭の僞らざる姿である。ハリウッドで製作されたものであるから、といふ理由でそれを否定する事は出來ない。

戰爭は恐怖であり、汚穢であり、醜惡であり、絶望であり破壞であり、そして死である義勇、忠誠、名譽、榮光等々の美德が戰爭と共に在ると思ふのは幻覺である。戰爭は慘虐なる屠殺である。

この映畫を觀る者は等しくこれを感じ、これを肯定しないではゐられない。戰爭を呪咀しないではいられない。筆者は映畫が斯くの如き力を持つてゐる事をまざ〳〵と眼前に認めて、こゝに監督リュイス・マイルストーンに敬意を表する。

彼の卓拔なる才能と良心的態度に依つて、かくの如き映畫が生れたのである。彼の寸毫と雖も假借する事のない寫實主義は、戰爭の本體をあますところなく曝露した。戰場の情景のみならず、後方陣地に病院に、兵營に、故國の町に或は直接に、或は間接に、戰爭の慘禍を描き盡してゐる。

戰場に於ては、兵士達は殺戮を恣まゝにする機關銃に向つて、地雷の炸裂する中を、そして空中からは、凡ゆる種類の彈丸が落下する中を、盲目的に進み、塹壕の中では、饑餓と鼠と虱と戰かひ、寢ても起ても、ただ戰爭の一機械となるのである。

そして何時かは殺され、また假令生殘つても戰爭痴呆症に多少なりとも冒されて常人としての活動能力を奪はれるのである。これを觀る者は苦痛を覺えないではゐられない位である。これを和らげる爲めにマイルストーンは素晴らしいコメディ・リリーフと涙ぐましい迄の友愛美を挿入してゐる。前者は主としてスリムサンマヴィルとルイ・ウオルハイムとにより、後者はリュイス・エイヤースを中心とする若年俳優等によつて演ぜられる。それはマイルストーンの指導の下に、演技以上の演技にまで高められてゐる。

原作ではボールがその同僚百五十人の半數を失ひ戰線から交代してバラックへ歸つて來たところから初められてゐるが、この映畫では主人公が未だ學生であつた頃から展開して行く。

ドイツの小さな町、即ちボール達の故郷であるが、その大通りを出征の軍隊が行進してゐる。その喚聲を雜沓からカメラが移動して或る建物の中に轉じて行くと力一杯に熱辯を振つてゐる聲が聞えてくる敎壇に立つて國家の危きを說き出征をすゝめてゐるカントレック敎師だ。それを聞いてゐるのは十八歳前後の生徒だ靑春の血ゆたかにロマンティックな夢の多い彼等の頭に、愛國的熱情と英雄主義が理窟なく生れて行く。若者達はカントレックの勸告で出征を志願しやうと相談する。ベームが迷ふ。だが皆から憶病者と嘲けられるのが辛らさに同意する。このスタートは原作の『思ひ返し』の手法よりも直接的なだけに我々に明瞭な印象を與へる。

場面として特に印象に强く殘るところは、前述した最初の効果的な『間』と、前後二度現はれる激戰のシーンと、メムメリッヒが病院で死んでゆくところと、ボールが佛兵を刺し殺して一夜に來て嘗ての自分を想はせる年若い兵士を見送る邊りであらう。

ボール達が鐵條網張りの任務を帶びて初めて戰場に出て行くところは戰慄身に迫るものがある。炸裂する砲彈の轟き闇夜の光閃彈、とりわけ鐵條網を握つたまゝ切斷されてゐる二本の眞白い腕は瞬間的に我々を衝動せしめる。また次に現はれる突擊のシーンは從來の映畫に比べて餘りの凄絶さに思はず目をそむかしめるまつたくボールならずともこゝに現はれる激戰の凄さには恐怖を感じるであらう。若者のロマンティックな英雄主義が粉碎されるのも當然だと思はせる。また砲彈が落ちた跡の穴でボールが刺し殺されるフランス兵士が、一語も發せずただ唸るだけで、凄慘極まりない効果をあげてゐる。そして刺し殺した佛兵を見るに耐えず、その顏を同ふへ押しやるボールの氣持は戰爭に對する反感以上の强い感情がある。運河で身體を洗ふ時に知り合つた二人のフランス娘と約束してボールが二人の同僚と女の家へ忍んで行くところは、エロテイシズムといふよりは寧ろ兵士達の偽らざる生活を示してゐる。寢臺から聞えてくる女の眠たげな唸き、生きるためには貞操をも棄てねばならぬ程の思ひを住民に與へてゐる戰爭の慘禍、それがこの靜かな場面から感じられる。脚を切斷して病床に死を待つケムメリッヒ、それを見守るボール、ケムメリッヒの臨終を知つてボールは軍醫に出張を乞ひに行くが軍醫は相手にしない。一日十六、七人から死んで行く病人に一々取合つてはゐられないといふのである。そして死んだケムメリッヒの遺品の長靴がミュツレルの足に穿かれる。ミュツレルが喜んだのも束の間で彼も亦ケムメリッヒの後を追つて死ぬ。次ぎ〳〵に死んで行く兵士が長靴の二重撮影で暗示されるのである。このほかヒンメルストスが復讐される件り、カチンスキーが食糧を徵發して來る邊り、虱との件等それ〴〵に面白い。

凡ての端役に至るまで悉く優れた演技を見せてゐるし、アングスンのアダプテーション、アボットのセナリオ、アンドルースのコンティニュイティ、それぞれ巧緻、正密であつて賞すべきだが、マイルストーンの監督は更に偉大な功績として賞揚すべきである。これはユ社から發賣された映畫の中で最も優秀な價値を持つ一つであり、そして又今までの米國製戰爭映畫の中では內容、表現ともに飛拔けてゐるものだと斷言する事が出來る。

投稿家諸氏へ

紙上匿名は差支えなきも住所氏名は明記のこと。

◎募集◎

▼和歌　題目自由　一人二十首以內　締切十五日　選者　岩波　菊治

▼俳句　五月季題　「露」「雁來紅」　一人五句　十五日締切　選者　木村　圭石

◎各題別紙締切日嚴守の事

土地貸したし

米、バタタ、果實に好適の土地特に日本人家族に賃貸したし、聖市より僅か一時間半

御照會は午後〇時から一時まで、午後七時から八時まで左記へ

Sr. Carlos V. Carvalho
Av. Angelica, 157 S. Paulo

珈琲園賣却

位置　アララクァラ綫サンタ・エルネスチナ
ファゼンダ・サンタ・イザベル
珈琲成樹三十萬本收穫多し、珈琲、カンナ其他のプランタソンに適する未開墾地及びパストあり
標高　海拔六百三十米突健康地
交渉法　年賦拂、希望に依り分割賣却す
約契　照會其の他はサンタ・エルネスチナ在住のEngenheiro Dr. Georg Schmal 殿は渡邊幸雄宛申込まれ度し

寫眞鏡

「アグフア」「コダツク」「ゼイス」製品一切

現像、燒付引き延ばし

CASA FOTOPTICA
Rua S. Bento, 45

トケイ

千八百三二年の開業以來當店は絶對保證と絶對責任をもつて各種時計の修繕を致して居ります

日本人諸君に特に安價に致します、日本人敎育會殿も數個御買上げ下さいました日本人技工が居り外日本人諸君に特に安價に致します、日本人敎育會殿も數個御買上げ下さいました日本人技工が居り外

Ao Regulador Fox
Rua Quintino Bocayuba. 11

鞄と靴

皮革類、勞働靴運動靴、トランク、大小手提鞄折カバン各種

日本人諸君に特價提供

ジオン・メンデス廣場（醫藥會傍）

G. CICCONI
RUA IRMÃ SIMPLICIANA NO. 9

新種子

野菜、花卉、ムルシア及び伊太利產アルフアフア、ユーカリ、麻、玉葱、コルザ、莢豌豆等の優良種子が澤山到着致しました。

當店の種子は州農務局（種子試驗課）の證明付の發芽絶對確實なものであります。

其他硫酸銅、硫黃「ゼルモラール」印噴霧器等。

百數十種繪入のカタログ申越次第進呈

CASA DAS SEMENTES
CARLOS CORRADINI
RUA S. CAETANO, 42 - SÃO PAULO

GARAGE CONGRESSO

貸自動車は同胞運轉手の居るガラージ・コングレッソ

電話　二…〇〇八一

プラサ・ジョンメンデス

TEL. 2-0081

Casas Gonçalves e Luso Brasileira
Gabriel Gonçalves & Cia.
FUNDADA EM 1914
Rua General Carneiro, No. 35-53-55
Caixa Postal, 388 — São Paulo

金物類
ブランタ類
農具類一切
瀬戸物一切
オリヤ各種
硫酸銅
硫酸
フオルミーダ
發酸曹達
クレオリナ
ヴエルモレル印噴霧器

ガゾリンプランタ各種

ブランスンフ製でポンプのすばらしい至極便利なる

天明巷談

女えうお柳

加藤久美

—{中}—

（四）

その翌朝――。

大道の眞中に、見るも無慘な男の他殺死體が、むき出しのまゝ遺棄されてゐる事が發見されて、騷ぎとなつた。

忽ち自身番へ急報される。早朝ながら町方の出役といふ事になる――。

死體は、無慘にも、顏を滅茶滅茶に打碎かれてゐた。

髷の恰好からして堅氣者で無い事は、誰の眼にも首肯けたが牡丹のぼかしに狂ひ獅子の刺青が、背一面に躍つてゐるのから見ると、何う見てもこれは渡り者、遊樂稼業――といふあたりが、動かぬ見當らしかつた。だが、それにしては、武士らしく大小を帶してゐる。打裝だつて黑紋服の着流しといふのでは、遊樂者に少と似つかない。

せめて、面体でも見分けがつけば、そこにまた、一縷の手懸りも掴む事が出來たであらう。が、かう跡形もなく打碎かれてしまつては、何處の何者と見當の付き相な筈もなかつたし、殺された者の人別が判らずに、下手人の目星のつきさうな事は無論なかつたし、唯一つ牡丹に狂ひ・獅子の刺青――これとて、やたらに刺青の流行してゐた頃の事だから、別段に取立てゝいふ程のものではなかつたが、これだけが書きとめられたゞけで、結局、死體はお取捨てといふ事になり、下手人は永年捜索といふ事になつて、判らぬなりにも兎に角事件は一段落をつげた。

× ×

そんな事件のあつて間もない或る夜、然ももう亥刻を廻らうといふ刻限に、打裝などの見すぼらしい、三十がらみの、色の淺黑い、眼のギョロリとした、一寸見には少しは睨みの利き相な、そのくせどこか破戸漢の樣な、末者以上には踏めさうもない一人の男が、四谷餃ケ橋の自前藝者お柳の家をふいと訪づれた。

お柳は、丁度座敷から歸つて來て常着を着換え、火鉢の側へ坐つたばかりのところだつた。

× ×

座敷へ出るといふは、近頃のお柳には珍らしい事だつた。

何故かお柳は、此頃、ひどく憂鬱だつた。

時には、座敷へ出て一つ陽氣に騷いでやらうかと、ふいつと・そんな氣にもなつてみるが、いざとなると、矢張り氣が引立たなかつた。かゝつてきたどの座敷も斷はつてしまつて、日がな一日、家の中へ閉ぢ籠つてゐる事も、此頃のお柳には、決して珍らしい事ではなかつた。

『仕樣がねえなア、一仕事やるとすぐさうなンだ。今時・滿更・やきの廻る年でもあるめえし、面白くもねえ。お前にも困つたものぢやねえか』

或る夜も金五郎は、不味さうに盃を舐めながら、太い眉をひそめた。

お柳は、金五郎と火鉢の中に顏を見合すのさへ厭はしく思つてゐた矢先、こんな嫌味の一つもさしつけて云はれると、もう黙つてはゐられなかつた。

『困るから何う仕樣つて云ふのさ。そんな嫌味たらしい口說を並べたてゝゐないで、斯うなら斯うと、はつきりお云ひよ。くそ男らしくもない』

お柳から、かう强く出られると、金五郎は折れて

『何も、そんなにがみたゝくたつて宜いやなン――お前のやうにさういつもかつも浮かぬ顏をして、家ゝ中にばかり素つこんでばかりゐたんぢや、身体だつて堪つたものぢやねえ。つまり俺は、お前の身体が心配なのだ。腹を立てるのは、お前のとりやうが惡いからだ』

『おや……ぢやあ何かえ、お前はそれ程まで、こんな女でも、一心かけて想つてゐてくれるといふのかえ』

『冗談ぢやねえ。長い間苦勞を共にしてきた仲だ。今更わかつた事でもあるめえぜ』

MOVEIS
家具は カーザ東京へ
受賞數回 邦人家具商の古參
CASA TOKIO
R. Sta. Ephigenia, 11-A
Tel. 4-6487 Caixa, 1005

Elixir Nogueira
grande depurativo de sangue
梅毒妙藥
萬國藥店に有り

お柳は、てんで男には見向ふともしないで言つた。

『へへゝゝゝ、さうむき付けて仰有られると、ちよいと何うもへへゝゝゝ』

熊五郎は、頭をかき〳〵

『實はその、この打裝を見て下すつてもわかる通り、こゝ十日ほどゝいふもの、少つとも芽が出ねえものですから――』

『それで？』お柳は、冷然と、顏一つ動かさない。

『それが、御覽の通りの身の上で、他にあてといつてみたところが、皆目そんなものゝあるわけはありやしません。それとそれから落ちた猿も同じ事で、今度といふ今度は隨分困りましたところが、窮すれば通ずで、困りぬいた揚句、ふいつと頭に浮んだ事がありましてね、あ、さうだつた、こいつあすつかり忘れてゐた、こゝンことろは一つへば、權次は、死んでも死に切れず、怨みをのんで、仰けさまに反つたきりだつた。

お柳は、餘りにも慘酷な、卑怯でもある金五郎の仕打ちを詰り付けた。金五郎は、ただニヤ〳〵と笑つてゐるばかりで、お柳に取り合はふとしなかつた。結局、お柳は、後始末を手傳はされるよりなかつた。

さしあたり死骸の捨場に困つたが、ふと一計を案じ、死體を武士姿と仕立てゝ旨々と一狂言かき了せた積りだつた。

そこへ、突如に、熊五郎から斯う出られたのだから、お柳の面色は動いたのである。

『へへゝゝゝ、その邊のところで……』

『だつて、今夜が初めての、見ず知らずのあなたから、いきなり其處事を言はれても、何が何だか、妾には薩張り分りませんが』

『あつてだつて、斯う見えても、お柳は、てんで男には見向ふともしないで言つた。

『へへゝゝゝ、さうむき付けて仰有られると、ちよいと何うもへへゝゝゝ』

死體は、無慘にも、顏を滅茶滅茶に打碎かれてゐた。

髷の恰好からして堅氣者で無い事は、誰の眼にも首肯けたが牡丹のぼかしに狂ひ獅子の刺青が、背一面に躍つてゐるのから見ると、何う見てもこれは渡り者、遊樂稼業――といふあたりが、動かぬ見當らしかつた。だが、それにしては、武士らしく大小を帶してゐる。打裝だつて黑紋服の着流しといふのでは、遊樂者に少と似つかない。

せめて、面体でも見分けがつけば、そこにまた、一縷の手懸りも掴む事が出來たであらう。が、かう跡形もなく打碎かれてしまつては、何處の何者と見當の付き相な筈もなかつたし、殺された者の人別が判らずに、下手人の目星のつきさうな事は無論なかつたし、唯一つ牡丹に狂ひ・獅子の刺青――これとて、やたらに刺青の流行してゐた頃の事だから、別段に取立てゝいふ程のものではなかつたが、これだけが書きとめられたゞけで、結局、死體はお取捨てといふ事になり、下手人は永年捜索といふ事になつて、判らぬなりにも兎に角事件は一段落をつげた。

× ×

そんな事件のあつて間もない或る夜、然ももう亥刻を廻らうといふ刻限に、打裝などの見すぼらしい、三十がらみの、色の淺黑い、眼のギョロリとした、一寸見には少しは睨みの利き相な、そのくせどこか破戸漢の樣な、末者以上には踏めさうもない一人の男が、四谷餃ケ橋の自前藝者お柳の家をふいと訪づれた。

お柳は、丁度座敷から歸つて來て常着を着換え、火鉢の側へ坐つたばかりのところだつた。

× ×

座敷へ出るといふは、近頃のお柳には珍らしい事だつた。

何故かお柳は、此頃、ひどく憂鬱だつた。

時には、座敷へ出て一つ陽氣に騷いでやらうかと、ふいつと・そんな氣にもなつてみるが、いざとなると、矢張り氣が引立たなかつた。かゝつてきたどの座敷も斷はつてしまつて、日がな一日、家の中へ閉ぢ籠つてゐる事も、此頃のお柳には、決して珍らしい事ではなかつた。

『仕樣がねえなア、一仕事やるとすぐさうなンだ。今時・滿更・やきの廻る年でもあるめえし、面白くもねえ。お前にも困つたものぢやねえか』

或る夜も金五郎は、不味さうに盃を舐めながら、太い眉をひそめた。

お柳は、金五郎と火鉢の中に顏を見合すのさへ厭はしく思つてゐた矢先、こんな嫌味の一つもさしつけて云はれると、もう黙つてはゐられなかつた。

『困るから何う仕樣つて云ふのさ。そんな嫌味たらしい口說を並べたてゝゐないで、斯うなら斯うと、はつきりお云ひよ。くそ男らしくもない』

お柳から、かう强く出られると、金五郎は折れて

『何も、そんなにがみたゝくたつて宜いやなン――お前のやうにさういつもかつも浮かぬ顏をして、家ゝ中にばかり素つこんでばかりゐたんぢや、身体だつて堪つたものぢやねえ。つまり俺は、お前の身体が心配なのだ。腹を立てるのは、お前のとりやうが惡いからだ』

『おや……ぢやあ何かえ、お前はそれ程まで、こんな女でも、一心かけて想つてゐてくれるといふのかえ』

『冗談ぢやねえ。長い間苦勞を共にしてきた仲だ。今更わかつた事でもあるめえぜ』

『おう姐さんは在宅かい。在宅ならさう言つてくンな、遲がけに上つて濟ねえが、手間は取らさねえ、少いつとばかり姐さんに會つて貰ひてえンだ。斷つてをくが、居留守をつかつたつてそいつあ駄目だらうぜ。何故つて俺は、後を尾けて來てゐるのだ今し方、此家へ入つたところまで、俺はちやんと見届けてゐるンだからな』

戸を閉めようとする下女の兩

（五）

お柳は、てんで男には見向ふともしないで言つた。

『へへゝゝゝ、さうむき付けて仰有られると、ちよいと何うもへへゝゝゝ』

熊五郎は、頭をかき〳〵

『實はその、この打裝を見て下すつてもわかる通り、こゝ十日ほどゝいふもの、少つとも芽が出ねえものですから――』

『それで？』お柳は、冷然と、顏一つ動かさない。

『それが、御覽の通りの身の上で、他にあてといつてみたところが、皆目そんなものゝあるわけはありやしません。それとそれから落ちた猿も同じ事で、今度といふ今度は隨分困りましたところが、窮すれば通ずで、困りぬいた揚句、ふいつと頭に浮んだ事がありましてね、あ、さうだつた、こいつあすつかり忘れてゐた、こゝンことろは一つへば、權次は、死んでも死に切れず、怨みをのんで、仰けさまに反つたきりだつた。

お柳は、餘りにも慘酷な、卑怯でもある金五郎の仕打ちを詰り付けた。金五郎は、ただニヤ〳〵と笑つてゐるばかりで、お柳に取り合はふとしなかつた。結局、お柳は、後始末を手傳はされるよりなかつた。

さしあたり死骸の捨場に困つたが、ふと一計を案じ、死體を武士姿と仕立てゝ旨々と一狂言かき了せた積りだつた。

そこへ、突如に、熊五郎から斯う出られたのだから、お柳の面色は動いたのである。

男の、刻一刻と蒼白めて行く、怨めし相な顏、それを冷然と見下して、せゝら笑ふ金五郎の、不敵な惡黨面――その夜の光景が、お柳の眼には、歷々と見えるやうだつた。

日野街道で絹商人を殺め、久方振りで大きな仕事にあり付く事の出來た栗原無宿狂ひ獅子の權次は、餘裕をぬくには却つてお膝下と兇行後、大膽にも江戸の地へ紛れ込んだ。それと脫んだ金五郎は、登樓したのを幸ひづきが廻つたと詐つて連れ出し親切ごかしに旨くつり出して、金の隱し場所を吐せた上、相手の油斷したところを、唯一擊の下に斃してしまつた。それが、今も熊五郎の坐つてゐる、火鉢の側なのだ。

犯せる罪の數々、何れ刑死を免れぬ生命ではある。が、仲間の卑怯な奸策にはめられたと思ふ卑怯な奸策にはめられたと思ふ

DR. K. DAIAN
MEDICO
ARAÇATUBA
大庵喜八
(大原商店隣)アラサツーバ

DR. H. SAITO
MEDICO
Rua da Inconfidencia, 6-35
醫學士
齋藤等
バウルー市…電話二六九

アルトカフエザル附近に於て四年契約歩合作者募集致します
御希望の方は左記の場所へ御照會を願ひます
マリ、ヤ町ルアサンルイス
富永果物店内
萩尾平藏
塩鹽 マリ、ヤ町より九基米

CASA RÉA
FOGAO PAULISTA
Rua Xavier de Toledo, 29 Tel. 4-1745
最新式フオゴン
最も經濟で便利なフオゴンを安價で提供致します。目錄至急御申込み下さい

土地家屋
賣、貸何れにても可、多數あり、御相談を乞ふ、當方辯護士公證翻譯人
DR. ANDREA DO
R. Direita, 6, 3.o and. Sala 12
TEL. 2-5867 S. PAULO

ロッテ
(アルト・サンタ・アンナ)所在の自動車便ある絶對健康地賣却
Dr. Messano
Rua Consoação, 104

御旅館
北田清吉
アラサツーバ市ゼネラル
デンテ・モラエス六五
郵函 二〇八

歯科醫
寶臣衞
アラサツーバ市ゼネラル
オソーリヨ街九八
郵函 二〇八

親切丁寧迅速
園部洋服店
園部實二
ノロエステ線ビリグヰ町
郵函 二九

洋服の御注文は是非當店へ
安い店は
山下藤太郎商店
CAIXA, 35

ルイス・ガマ街四二
中須藥舗
ノロ線リンス市
郵函—二〇三

ジエツリーナ町で
一番買ひよく
安い店は
山下藤太郎商店
CAIXA, 35

miami
ミアミの優良品を以て貴方の香粧品を豐富にせられよ。
石鹸・口紅・白粉・タル
毛髮香油・香水
◎卸・小賣
聖市タバチンゲーラ街
日本藥局

せき？
ぜん息グリツペ其他でお困りなら
BRONCHISERUM
をお用ひなさい
ノロエステ線リンス
中須藥舗
聖市タバチンゲラ街
日本藥局
其他全國各藥店にあり

CAJÚ PURGATIVO
下劑はこれ
一度使へば絶對に他品は使へぬ。
鹽性、瓦斯質で服用容易。禁食の要無く効果は敏速。
到る處の藥店にあり
發賣元
日本藥局
聖市タバチンゲイラ街二 郵函二六二五

Dr. BENEDICTO TANNURI
Rua São Bento, 88 - Araraquara
病者福音!!
胃擴張、胃下垂等燒手術無痛で根治
其他內科、外科、電氣療法科、婦人科一般
一瞬の遺漏は重病のもと
ドクトル
ベネヂット タンヌーリ
アララクアラ
サンベント街八八
電話 四四五

Dr. Deodato Wertheimer
外科、產科、婦人科、小兒科特に肺病治療に獨特の技倆を有す
診察時間 午前七…十時 午後一時五時十時
既に定評あり
モヂ・ダス・クルーゼス地方の日本人間に診療所
Av. Rangel Pestana, 164
Altos do Guaranyi Tel. 9-1624

大阪商船會社切符代次
成功館
古謝將義
サントス市ラルゴ・セッテ・デ・セテンブロ一三
電話 二〇〇八

HOTEL PAZ
Praça José Bonifacio, 51
SANTOS
サントスでお泊りは是非本館へ
ホテル平和
大阪商船切符取次所
主館
仲村渠三郎

大阪商船會社
日本郵船會社
國際汽船會社
御用達
◎船舶に食糧賣込業
ヤマカ合資商會
小淵、前田、合同經營
サントス港ゼネラル・カマラ一三三 電話一四七

料亭さくら
御食事に、御清遊に、是非……
ルア・ドナ・ルイザ七(マクコ)
サントス

HOTEL CAMBARÁ
—Caixa, 109—
MASSAO IKEDA
Cambará L.S.P.P.
清潔なお部屋と美味なお食事に御評判を頂いて居ります
ホテル カムバラ
サンパウローバラナ線カムバラ郵函一〇九
池田政雄

停車場の直ぐ前で御便利第一
日本郵船會社切符取次
ホテル・プログレッソ
澤尾磯七
バウル市…郵函六八…電話一三五

MAKAI & FILHOS
Caixa Postal, 486
PHONE, 101
CATANDUVA
カタンヅーバ市
製造所
中井工場
播種機並に農具一式

お泊り下さる皆樣方からきつと御評判を頂きます
日本旅館
バウルー市ノロエステ驛前
沖山心平

御旅館並御料理
伊勢屋
宮坂實耶
ノロエステ線カフエランディア驛

HOTEL SÃO PAULO
Rua General Osorio, 24
PHONE, 390
Ribeirão Preto
御旅館
サンパウロ
お泊りの節は…お休み心地のよいそしてコミーグのおいしいので評判の
館主 島崎岩吉
リベロン・プレート停車場通二四
電話……三九〇番

各方面に聞く
總會への待望
殘された同仁會問題

本年度の豫算案を中心にして同仁會は可成り重苦しい空氣に包まれてをり、同會内部に於ても總會切拔案を始め万一の場合などを想像してこれが善後策について相當苦慮してをる模樣である。今各方面の意向を聞くに、

△▲△　△▲△　▽▼▽　▽▼▽

既に述べてある通り（江越信胤氏）

役員會で滿場異議なく可決し、外務省關係方面の内諾を得てゐるのだから、事新らしく態度を決める必要もあるまい。

所謂改革案に對しては相當考慮してをり無下に斥けるわけではないが、それを本年度に於て直ぐ實行に移すといふことはむづかしいと思ふ。

役員は最善を盡した（矢崎節夫氏）

三万六千圓の金で全在留民が聊かの不服もなく恩惠に與からうといふのは無理だ。既に同仁會は立派に地方化してゐる。聖市で同會の厄介になつてゐる者はホンの數へるばかりだらう。

役員は最善をつくしたつもりだ。藥品の無料配布に就ては異論もあるが、それは個人としての問題であつて、種々の意見は役員會で述べつくしてしまつた。

非紳士的行動を排せ（小林弘一郎氏）

同仁會の批判ではなく、その從業者の個人的問題を論じて結びつけるのは非紳士的だと思ふ。例へ個人的に惡いからといつてその人の從事する公共事業も惡いといふ理窟は成りたたない。

從つて同仁會の施設に關しては公平に考へて、今迄は大體大過なくたどつて來たのだから、別に方針を改めなくともよからうと思ふが、具體的のメリヨラメントがあり且つ大衆が成程と思考出來る妙案ならば共鳴せぬものでもない。

正々堂々と論じやう（高岡專太郎氏）

理事會に盲從せず、個人としての自由な立場から正論を戰かはさう。それは徒らに總會を攪亂するのではなく、全在留同胞のための同仁會を擁護する意味に於てである。

家庭常備藥無料配布
（牧　義朝氏）

私の改革眼目は豫算項目中人件費の節減其他一部變更の上、百三十六コントスを以て家庭常備藥を購入し之を在伯同胞に無料配布する事である。その配給方法は各地方の團體を單位とし、その會員數に比例按分して行ふ。

私は豫算さへ目的の貫徹が出來たならば敢て役員の人選に對しては何らの異議を唱へない。ただ理事長始め凡ての役員は總領事館、ブラ拓、海興等に深い關係のある人は必ず除外して貰ひたい。即ち確實に自已の所信を貫徹し得る境遇に在る人々を選任したい。

斯の如くこの時局に直面した同會幹部の煩悶は一方でないが、この際何等かの一致點を發見して大勢の善導を期する目的をもつて意見の交換を行ひ、局面の急迫を和らぐべき會合を催ほす者はないかとも一部からは云はれてゐる。

陸上競技大會に先だち
先づ委員の實習
出場選手と共に廿六日午後パウリスターノで

榮光郵やく第一回全伯國陸上競技大會を目指して月日はまつしぐらにゴールへと進む。二十八日着のマリリア選手を最後として出場團體は全部顔を揃へる豫定であるが、來る二十六日には早朝に着聖するであらうノロエステ線代表プロミツソン（リンス、カフエーランジア、グワヰサラ合併）を迎へてサンパウロは勿論コチアをも加へた三團體が晴れのパウリスターノ競技場に於て各自の技倆を示す事となつてゐる。猶大會役員は去十八日の協議會で次の如く選任。

▽審判長安養寺▽監察員蛭田塚井、吉澤▽決勝審判員古關、川田、緒方、多渡、木村、▽計時員竹内、東後、高橋▽跳躍審判佐藤、河内谷、室伏▽投擲審判河合、近藤、高野▽記錄員野村川邊、前田▽召集員松下、早川吉田▽出發合圖瀬戸▽場内司令石原▽通告丸尾▽新聞記者係綠川及び救護醫として高岡專太郎の十九氏

柄にもなく役不足を唱へた不心得者が二、三あつて教養の程度を問はれたが、團體訓練のない者を强いて依賴する要もないので前記の如くそれ〳〵快諾を得選手運と共に午後二時郵便局前へ集合、競技場へ赴いて各自の部署に就き、大會當日万一の失策無きを期する事となつた。

主催者から
來會者へ希望

今回の大會に關し、主催者たる青年會及び日本人會の來會者へ對する希望は——

青年會から……出場選手は不休裁にならぬ服裝をし、各委員の指示に從つて秩序ある行動をとるやう。二日間に行ふべき競技を一日ですませるのであるから、各自が勝手に動くと進行を妨げる結果となる又應援者は野卑な言語を發し盲動する事を絶對につゝしみ飽くまでも教養ある日本國民である自覺心を持つてゐて欲しい。

日本人會から……午前八時に祝賀式を擧行する。最初の豫定は午後一時であつたが、式の性質上最初に行ふのが當然であり且つ午後は競技の方の決勝戰がつづくので若しもの場合を顧慮し、八時に決定した。當日は川西領事の來會もあり、在留者はこの良き日を壽ぐため一人でも定刻に遲れぬやう參集を希望する。引續き九時から夕方の四時まで競技會を開くが、御辨當持參の人達は四邊を取散らかさぬやう、外國人と伍して一點劣るところのない日本人である事實を示して貰ひたいと思ふ。

三浦本社長消息

司法當局の公正な取計により去九日ラス・バルマスへ上陸を許された三浦本社長は愈々再審査に立會の爲最近の便船で歸伯すべき旨其筋より通告に接した。司法大臣は既に本件が日本政府と在留民の名を騙つてなせる中島總領事以下數名の者と日本政府を代表する駐伯日本大使の名を僞れる早尾宰廳の所爲せる謀計であることを知り最後の裁斷は疾うに決定しをる旨明言されてゐる。

尙去十七日在ハンブルグ日本領事よりサンパウロ總領事館宛左の入電があつた。

『モンテ・オリヴイア號本日入港せるも三浦は便乘せず』

漫談會の四月例會

虛心坦懷、常識かん養につとめつゝある漫談會の四月例會は明二十四日午後七時から蜂谷專一氏邸（タグア街八A）で開催される。當夜は毛利君のラヂオ、テレビジョン等に關する平易な解說と安養寺君の陸上競技大會の見方と題する時節柄有意義な話とがある由で、主催者は一般希望者の出席多數を期待してゐる。

▲正金銀行扱鄕里送金換算率
邦貨圓ニ付…六・九八〇

ALMEIDA LAND & CIA.
Rua Florencio de Abreu, 33-35 - São Paulo
珈琲採取用
サツコ
專門店
本綿のバンノ及びサツコの御用は、殆んど全伯國一手引受の當店へ御用命下さい。大量生産に依る廉價で御需要に應じます
見本は御申越次第進呈
聖市フロレンシオ・デ
アブレウ街三三—三五
アルメイダ
ランド商會

公告
長野縣上水内郡吉田町五七
竹本京藏
縣名不詳
高橋健次郎
右の方々に對し要用有之るに付本人又は同氏等の現住所御承知の向は至急當館宛御一報下されたし
在リベロンプレート
日本總領事館分館

荷馬車ブール賣却
一、頑丈なる荷馬車、强健なるブール三匹、身長何れも大
右至急賣却致したし、御希望の御方は御來談下さい
フレゲジヤ・ド・オ
梶山

聖市料亭の王座
鍋燒うどん
稻荷り壽司
海苔卷壽司
一品御料理
（一鈎一均）
皆樣方の和洋食店
エスツダンテ四一
きし

AGENTES COLONIZADOR
FAZENDA CUYABÁ
PROPRIETARIO TEXEIRA FILHO & CIA.
AGENCIADORES JAPONEZES
Rua Conde de Sarzedas, 7 - Tel, 2-1782 - SÃO PAULO
Estação "PRESIDENTE WENCESLAU" - Linha Sorocabana

入植者御案内
來れ!! 産業合理化——科學的經營の植民地へ。 果然!! 驚く可き機械の發明と農産工藝。▲珈琲植付制限——農産物の慘落——經濟的不況▼今や行詰りつゝある同胞十數年の基礎、新らしく獨立されんとする方々の進路、他なし生産と加工事業の兩立に依つて何時の時代にもその繁榮を望む事が出來ます

◉入植者特點　當社の植民地に入植の方は各自生産物の價格を受取り更に加工事業に依る利益の配當の内より入植者の地代金は當社に於て支拂ひ殘餘は各入植者に配當致します

◉場所ソロカバナ線ブレシデンテ・ウエンセスラウ驛
一般珈琲地帶　土地頗る肥沃、高燥、絶對健康地
◎事業種目
一、【甘蔗栽培】加工種目　砂糖、アルコール、紙、人造絹絲の表造。一、【大豆栽培】加工種目　食料油及豆粕の製造及利用。一、【マモナ栽培】加工種目　工業用油、藥品其の他。一、【マンヂヨーカ及ゴマの栽培】加工種目　製粉各種及油の製造
一、地價　一アルケール五百三十ミルレース
一、入植者は十アルケールス以上二十アルケールス迄の土地所有者たる事、但し土地一アルケールに對し百ミルの地代金を拂込み初年度に於て甘蔗四分ノ一アルケールを栽培する事、同時に假登記券を渡します
一、地價拂込み方法は六年拂ひとし即ち初年度五分ノ一次年度無拂ひ三、四、五、六年度の各年度五分の一宛支拂ふ但し無利子、次回よりの地價拂込金は前記の加工事業に依る收益に依つて容易に支拂ふ事が出來ます
◎新舊機械の比較（從來の機械對カンナ一千基　白赤砂糖五十基　メラダ二十二基　殘滓は全部粕として放棄
◎對照（カンナ）（新發明機械對カンナ一千基　白砂糖百十基　メラダ十基　人造絹糸四十基　紙（二種）八十基
從來製糖機械は季節的に非常なる繁忙を來し季節以外製糖は不可能でありましたが今回當植民地の製糖機は季節に關係なく何時にても製糖する特點があります。而して市場相場を有利に調節する事が出來ます。大豆及マモナ加工に就いては特に獨逸より最新なる機械を購入し入植者各位の利益增進を圖るものであります。斯の如くして當植民地は時代に醒めたる最新なる機械を運用し加工事業に依つて得たる利益を分配し地價の拂込等の容易なる事は明らかであります。◎植民地内には既に二十アルケールスの牧場あり數戸の假住宅の設備もありますから何時でも入植が出來ます　◎交通は驛より自動車の便があります　◎學校舍及藥店、醫者、日用品販賣店の設備を致します
◎入植御希望の方は出來る丈け早く御申込み願ひます
◎視察御希望の方は申込次第御案内致します
◎尙詳細は御申込次第說明書及申込書御送附致します
クヤバ植民地面積一萬九千アルケールス
クヤバ興業殖民商會
コロネル・カンヂト・ティシエーラ　ドトール・オターヴイオ・テイシエーラ
金子大二郎　藤田伴藏　菊地常八　小笠原喜一　藤澤信夫
第一事務所　聖市コンデ・デ・サルゼーダス街七
第二事務所　ソロカバナ線ブレシデンテ・ウエンセスラウ驛上

Casa Sato
雜貨商及旅館
農産物仲買及委托販賣
佐藤商店
ノロエスツテ線ペンナポリス市
郵函一一〇一
電話一三四一

告示
來る四月二十九日午前九時半より十時半迄總領事官邸（ジャルヂン・アメリカ）に於て天長節遙拜式を擧行す
昭和六年四月二十一日
在サンパウロ
日本總領事館

告示
四月二十九日天長節當日官邸に於て兩陛下御眞影の奉拜式を致しますから午前十時より同十一時迄の間に御參拜下されたし
昭和六年四月十八日
在リベロン・プレート
日本總領事館分館

天長節祝賀會ニ就テ
時日　四月廿九日午前八時開會
會場　クルブ・アトレチィコ・パウリスタノ
CLUB ATHLETICO PAULISTANO
因に本會場へは「プラサ・ド・コレオ」Praça do Correio より「ルア・アウグスタ」Rua Augusta 行の電車四十五番を御利用下さい
當日は第一回全サンパウロ州青年陸上競技會を開催致しますので例年の「アクリマソン」公園を前記會場に變更致しました、何卒定刻迄に御出席下さる事を希望致します
聖市日本人會

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

Anno XVII | São Paulo — Quinta-feira, 23 de Abril de 1931 | Num. 725

NIPPAK SHIMBUN

Director - Gerente:
ALFREDO TAKEUCHI
Redactor da pagina brasileira José Solé

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO – BRASIL

ASSIGNATURAS
Para o Brasil:

Por anno	30$000
Por semestre	16$000
Numero avulso	$500

Para o Exterior:

Por anno	60$000

ANNUNCIOS
Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nestafolha. Telephone 2-3926

As safras de cereaes deste anno

A Secretaria da Agricultura está informada de que a safra de cereaes deste anno em S. Paulo attingirão extraordinario volume. Assim, aquella repartição resolveu tomar providencias no sentido de facilitar o transporte e assegurar os mercados em condições satisfatorias.

E' certo que essa abundante producção não poderá ser consumida inteiramente no Estado, de maneira que o excesso deverá ser collocado sem demora e a preços vantajosos.

Já conferenciaram a respeito o Secretario da Agricultura e o Interventor Federal. A Directoria de Inspecção e Fomento Agricola iniciou os trabalhos de avaliação das safras, de modo a possuir o Governo dados bastante approximados para bem orientar o seu programma de acção. O trabalho de escoamento para os outros Estados e para o exterior do excesso de produção já se encontrará perfeitamente organisado quando, chegada a época, affluirem a esta capital e á Santos os grandes carregamentos de cereaes.

Em reunião, que terá logar na proxima semana, o Sr. Navarro Andrade, Secretario da Agricultura, se entenderá com os directores das estradas de ferro sobre as providencias a serem ultimadas, de modo a que o serviço de transportes se ache perfeitamente organisado. Finalmente, o Governo se preocupa em assegurar a collocação dos productos em excesso, tendo em vista, sobretudo, a manutenção de preços minimos.

DR. S. TAKAOKA
MEDICO - OPERADOR
Rua Fagundes, 8
Tel. 7-4683 S. PAULO

Operarios dispensados no Japão

O governo acaba de dispensar cerca de 8.000 operarios dos estaleiros e arsenaes da armada.

A medida prende-se á execução do Tratado Naval de Londres

Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN e dos jornaes)

A posse dos membros do novo gabinete japonez

A's 16 horas e meia do dia 14 do corrente tomou posse o novo gabinete ministerial, com as ceremonias de praxe.

Dez pastas do antigo governo não soffreram alteração.

Para o cargo de secretario geral do Conselho de Ministros, foi nomeado o Sr. Takukichi Kawasaki, em substituição ao actual titular Sr. F. Suzuki.

Entrevistado pelos jornaes, o chefe do novo governo, barão Wakatsuki, que já presidiu o Conselho de Ministros e foi o chefe da delegação japoneza á Conferencia Naval de Londres, reaffirmou que o seu gabinete seguiria, salvo uma ou outra leve modificação exigida pelas circunstancias, a mesma politica do seu antecessor, Sr. Hamaguchi.

Imprensa Japoneza

A tiragem de dois grandes jornaes nipponicos

Um communicado da United Press, para os jornaes brasileiros, diz que «dois grandes jornaes do Japão vendem cinco milhões de exemplares por dia, circulação essa nunca attingida por qualquer outra folha do mundo.

Essas folhas são: "Mainichi" de Osaka e "Nichi-Nichi" de Tokio.

A primeira publica quatro edicções, duas de manhã e duas de tarde com a tiragem de 1.500.000 exemplares cada uma. O "Nichi-Nichi", vende 1.000.000 de exemplares por dia.

O sr. Hikoichi Motoyama, director desses jornaes explicou os motivos que determinam esse extraordinario successo a um redactor da United Press, dizendo:

1.º — Os jornaes servem para noticiar os acontecimentos e não para guiar a sociedade, portanto devem elles informar com rapidez e dando completos detalhes.

2.º — Os jornaes são responsaveis pela sua posição social e profissional. Sómente os esforços combinados dos jornalistas de todo o paiz poderão elevar o nivel da classe.

3.º — A dignidade de um jornal está em relação com o caracter das pessoas que fazem parte de sua redacção.

4.º — Os jornaes não devem poupar despesas, embora estas sejam consideraveis, mas devem evitar os gastos extravagantes.»

A respeito do communicado acima, em breve, daremos informações curiosas desses jornaes e da imprensa japoneza em geral

O mundo maritimo japonez movimenta-se

A Australia colherá este anno uma colheita de trigo muito superior a do anno passado estando calculada a safra daquelle cereal, num total de 25.000.000 de busseles.

Enquanto os negociantes japonezes, chinezes e europeus fazem as suas transacções com os plantadores os navios que dormiam no caes foram accordados para entrar em movimento. Já rumaram para a Australia cerca de 70 navios japonezes com um total de 540.000 toneladas, sendo esse elevado numero de transportes, ainda insufficiente, pelo que tende a subir a taxa de carregamento, muito além do anno passado, que cobravam 6 yens e 50 sens a tonelada, sendo hoje cobrados 9 yens. Essa alta tende subir ainda, abrangendo tambem, o transporte de outras mercadorias.

AVIAÇÃO

Conclusão do reide Tokio-Paris

Terminaram com exito o reide Pariz-Tokio ida e volta, os aviadores Moench e Burlin. Os bravos pilotos desceram no campo de Le Bourget, ás 11 horas do dia 19 do corrente, tendo percorrido 24.000 milhas.

O "Asahi Shimbum" instituiu dois premios para a aviação

TOKIO 18 — O jornal "Asahi Shimbum" offerece dois premios aos aviadores que até 20 de Abril do anno proximo effectuarem num só vôo e com reabastecimento em pleno ar a travessia do Pacifico.

O primeiro premio, no valor de cem mil yens, destina-se ao aviador japonez que realisar a proeza: o segundo, na importancia de cincoenta mil yens, caberá ao piloto estrangeiro que a effectuar.

Classificação dos tennistas japonezes para 1931

A classificação dos tennistas japonezes para as competições de 1931, tendo-se em conta os resultados obtidos pelos mesmos em 1930, são as seguintes:

1 — Jiro Sath; 2 — R. Nunoi; 3 — M. Yaskihara; 4 — O. Akimoto; 5 — M. Kawaji; 6 — T. Kuwahara; 7 — T. Fujikura; 8 — H. Shimura; 9 — K. Yamada; 10 — E. Ito.

— Por insuficiencia de dados, uma vez que se conservaram inactivos durante o anno de 1930, deixaram de ser classificados; T. Harada, Y. Ohta, T. Abe, H. Satch, S. Aoki e R. Miki.

BRASIL-JAPÃO

Nova linha de navegação da "Osaka Shosen Kaisha"

A "Osaka Shosen Kaisha" e a "Nippon Yusen Kaisha", as duas maiores companhias de navegação japonezas, cujas frotas juntas são representadas por 260 unidades mercantes, num total de 1.500.000 toneladas, acabam de assignar um accôrdo destinado a intensificar o já promissor intercambio commercial entre o Brasil e o Japão, bem como estimular a emigração dos filhos do longinquo imperio para a nossa terra.

Em virtude desse accôrdo. que será vallido por dez annos, cabem á "Osaka Shosen Kaisha" as linhas da America do Sul pela costa oriental e á "Nippon Yusen Kaisha" as da America do Norte, via Puget Sound.

A partir de Julho proximo, a "Osaka" prolongará a sua linha da Africa, via China-Africa, até aos portos do Rio de Janeiro, Santos e Buenos Aires, sendo que a viagem de volta effectuar-se-á pela mesma via Africa-China.

E isso, naturalmente, sem affectar a efficiencia da linha actual da America do Sul, que está funccionando, regularmente, ha mais de quinze annos. A viagem de volta dessa linha continuará a ser feita via America do Norte.

Por isso a flotinha actualmente destacada para fazer o serviço da Ammerica do Sul, composta dos vapores "Rio de Janeiro Marú", "Buenos Aires Marú", "Santos Marú", "La Plata Marú" e "Montevideu Marú", passará a ser reforçada com outras cinco unidades, de dez mil toneladas cada uma: "Hawaii Marú", "Arabia Marú", Manila Marú", "Africa Marú", e "Arizona Marú"

Providos como são de grande camara frigorifica, especialmente construida para transporte de frutas e outra cargas, que exigem baixa temperatura, é de esperar que esses novos navios, cujas accommodações para passageiros de classe e emigrantes tambem são optimas, venham contribuir para abrir novos mercados e amplar os que os nossos esforçados fruticultores já conquistaram para os nossos productos.

Assim, em breve, os vapores de "Osaka" passarão a fazer escala pelos portos de Santos e Rio de Janeiro quatro vezes por mez.

Os principes japonezes em Washington

O principe e a princeza Takamatsu, do Japão, visitaram o cemiterio nacional de Arlington e o Monte Vernon, o tumulo do soldado desconhecido e o de George Washington.

Os principes hospedaram-se na Casa Branca.

ESTUDOS E OBSERVAÇÕES

referentes á corrente permanente de agua que apparece após o desbravamento da floresta na zona sub-tropical

pelo Dr. **Sentaro Takaoka** e o
Eng. Agronomo **Tokuya Koseki**
Membros da Sociedade Japoneza de Beneficencia no Brasil

(continúação)

Em dois terrenos de igual área e da mesma condição topographica, mas de terras diversas, a agua cahida na terra massapé infiltra-se em maior quantidade e chega á camada reservatoria muito mais rapidamente que na terra roxa.

Quando a Companhia Saneamento da Noroeste procedeu a uma experiencis de perfuração no poço arteziano na Villa de Cafelandia, Noroeste, foi verificada uma camada muito grossa da mesma qualidade da terra, na profundidade de 50 metros encontrou primeiramente uma camada de rocha de granito. Por conseguinte, na região dessas condições é muito raro encontrar-se fonte ou nascente d'agua, ao passo que nas zonas de terra roxa a camada de terra é complexa, havendo até lugares onde se encontra a rocha-mãe descoberta, quando existem fontes ou nascentes d'agua em quantidade.

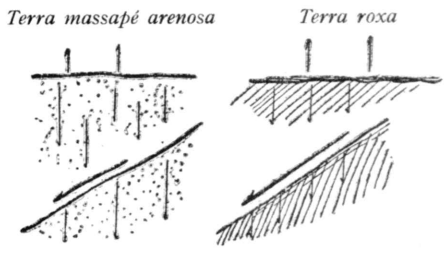


Fig. n. 5

O poder de reservar agua na terra roxa é bastante alto, mas, quando chega á condição de saturação, esta não deixa a agua penetrar profundamente, ao contrario da terra arenosa; ahi a agua excessiva tranforma-se em estado impermeavel, escorre pela superficie do terreno ou, estagnando-se, acabar-se-ha evaporando.

Na fig. V está expresso esse movimento topographico.

Assim, a terra massapé arenosa introduz a agua no sub-solo em maior quantidade que a terra roxa.

Mas a propria terra massapé arenosa augmenta tanto mais a argilla, quanto mais profunda fôr a sua camada Por isso, a terra fica mais pegajosa augmentando evidentemente o poder de reservar agua e a impenetrabilidade.

A agua, infiltrada pela terra a dentro em redor do espigão, transfere-se indo ser obsorvida pelo lado secco do declive e pouco a pouco se concentra no logar concavo.

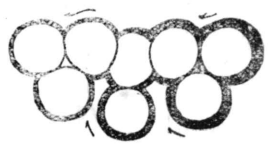


Fig. n. 6

Essa acção tambem é a da capillaridade, fazendo suppôr-se que os grãos de terra estão cobertos de uma camada leve d'agua e em contacto com os grãos cobertos com uma camada grossa. Esta será absorvida pela camada leve e a temperatura d'agua do sub-solo ir-se-á equilibrando gradualmente.

Assim a corrente permanente d'agua produzida após o desbravamento das florestas, na zona da terra massapé arenosa, extende-se a maior distancia que na zona de terra roxa, e essa extensão augmenta-se pouco a pouco até 3 a 4 annos depois de desbravada, não se diminuindo o volume d'agua na estação da sêcca.

d) Resumo.

Fundamentado nessas pesquisas e observações procede-se ao levantamento topographico e á vistoria sobre a natureza da terra sendo possivel prevêr-se onde nasce a corrente permanente d'agua e a região onde se formará o brejo depois do desbravamento.

Pois, na zona da terra arenosa, na hypothese da derrubada completa no limite extensivo da corrente d'agua nos terrenos da topographia suave, nascerá de novo uma corrente permanente d'agua de extensão de 1.000 a 1.500 metros, pelo menos, antes dos cafeeiros serem formados de 5 a 6 annos, se forem os terrenos de declive forte nascerá a corrente d'agua de extensão de 500 a 1.000 metros tendo sensivel differença no volume d'agua entre duas estações de chuva e de sêcca.

III — Applicação como orientação para o desbravamento

a) O remedio preventivo contra a malaria.

Como temos explicado, é possivel prevêr onde, depois do desbravamento das florestas até onde fôr possivel, se formarão as correntes de agua e brejo, e os viveiros de anophetos, e poder-se-á escolher para residencia os terrenos seguros contra o mal, planejando-se de modo a não deixar a agua estagnar-se por meio de escoamento previamente feito.

(continúa)

Heroes Japonezes

NOGUI

ERA primoroso o plano de defesa de Porto Arthur. Kondratchenko ficaria incumbido das fortificações permanentes e Fock teria a seu cargo a chamada defesa externa.

Para esta, lá estava o Kin-tcheou, isthmo de 40 kilometros de extensão e tres de largura maxima, com duas cadeias de montanhas lateraes, formando serra, e entre ellas um longo e estreito valle, murado de escarpas. O inimigo teria, fatalmente, de transitar pelo valle, para chegar á cidadella; mas as minas subterraneas a explodirem e as baterias de campanha assestadas nos morros, em linhas de fogo convergente, a derramarem metralha, haviam de envolvel-o num cylindro de chammas.

— Não virão a Porto Arthur, affirma Stoessel; o Kin-tcheou se encarregará de queimal-os todos e nenhum sobrevivo poderá contar mais a historia da louca temeridade.

— Nogui é audaz e os asiaticos são astutos, reflectia Kondratchenko. Kin-tcheou será formidavel; mas talvez não venham pelo valle.

— Por onde, então, pelo ar? inqueria Stoessel.

— Quem sabe! respondeu Kondratchenko.

E Fock partiu, com 12 mil homens, para transformar o Kintcheou numa fornalha.

Kondratchenco abria profundos fossos em derredor das fortificações de Porto Arthur e espalhava por toda a parte cercas de arame farpado, como teias de aranha, para difficultar o assalto que temia.

* * *

Tres mezes depois Nogui desembarcava em Pitcheou, a 130 kilometros da praça, os seus 45 mil soldados, com 5000 conhões, 250.000 tiros, material de via-ferrea — um peso morto de 28.000 toneladas! — além das barracas, ambulancias, viveres e roupas de inverno. Em 12 dias as tropas japonezas percorreram 80 kilometros, a marcha forçada, destruiram a estrada de ferro que ia ter a Liao-Yang, e mostraram-se na boca do Kin-tcheou.

As baterias de Siáo-kouchan e Tâkouchan, dirigidas pessoalmente por Fock, romperam fogo. Nogui simulou a retirada e fez-se fóra do alcance da artilharia. Os russos espantaram-se. De repente, vinda de noroeste, começou a cair nas collinas fortificadas uma saraivada continua de granadas, que desmontavam as baterias.

Eram as canhoneiras japonezas, que iniciavam o bombardeio, fundeadas na bahia da Sociedade. Os fortes russos, elles proprios, tinham dado signal á flotilha inimiga, annunciando o exercito de Nogui!

Ao cabo de tres dias de ataque, Fock, receiando o assalto a Ta-kouchan, chamou a guarnição de Siáo-kouchan e concentrou a resistencia num ponto só.

O canhoneio cessou e Nogui ordenou a escalada do Kin-tchou.

Stoessel errara. O inimigo evitava o caminho do valle e tentava o trajecto pelas alturas!

* * *

Os dois primeiros regimentos, que galgaram a encosta, foram anniquilados.

De cima do Ta-kouchan derivava uma catarata de fogo: fuzilaria incessante, nuvens de bombas atiradas a mão, cartuchos de dynamite, e, de mistura, enormes blocos de pedra deslocada, que vinham triturando fragorosamente o corpo dos assaltantes.

Novos regimentos succediam-se naquella ascenção épica, agarrando-se ás saliencias do declive com a espingarda a tiracollo e a espada entre os dentes.

A meia altura, o batalhão de Nagasaki, composto de moços ricos, parou hesitante, num taboleiro da montanha, com medo da morte.

— Alto! bradou o comandante.

E mandou formar em linha de mostra.

Então, sob um chuveiro de balas, procedeu á lugubre revista.

— Abotôe a farda. Aperte o cinturão, Afivele o kepi. Conte os cartuchos da patrona...

Terminada a provação, o comandante, sorrindo-se, exclamou: "Agora já perderam o medo. Nogui manda. Lá em cima, está a gloria. Avante."

Os soldados de Nagasaki investiram pela encosta, a pulos de tigre, gritando, em delirio — "trepa, trepa..."

Ao fim de quatro horas de combate, os japonezes attingiram as baterias.

A lucta cresceu em corpo a corpo. Os inimigos, abraçados, rolavam juntos no chão, mordendo-se no pescoço e rasgando as jugulares!

Fock mandou tocar a retirada. Estavam os japonezes donos da bocca do Kin-tcheou!

* * *

(continúa)